

第6号様式（第14条関係）

平成 26年 4月 8日

新宿区長 へ

法人名 NPO法人 テラ・ガーデン新宿
所在地 新宿区百人町 3-1-6
(フリガナ) コバヤシ マサミ
代表者氏名 理事長 小林 真己 ㊟

協働推進基金助成金交付申請書

新宿区協働推進基金条例施行規則第14条の規定により、下記のとおり助成金の交付を申請します。

記

助成金申請額 250,000 円

1 助成対象事業

事業名	パソコンで脳トレ 出前講習会	
事業種別	既存事業	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業
申請する助成の種類	<input checked="" type="checkbox"/> NPO活動資金助成	新事業立上げ助成
過去に本助成を受けた実績	助成年度（ 18年度 ） 事業名（高齢者のためのあきらめないパソコン講座 平成18年度7月コース）	
この事業に対し他の助成の有無 (申請中のものを含む。)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	有の場合は助成団体及び助成額 団体名： 助成額： 円
事業実施地域及び会場	北新宿地域 会場：柏木地域センター	
スケジュール (実施期間等)	平成26年7月～平成27年3月末までの期間中に3回実施予定 (日程は調整中)	
区民ニーズの把握状況 (それは、どのように把握したかを含む。)	<p>●区内高齢者におけるデジタル・デバインドの状況</p> <p>新宿区では、平成20年3月に向こう10年間の「新宿区情報化戦略計画」を策定し、ICT（Information&Communication Technology）を活用した「行政サービスの高度化」、「行政の簡素化・効率化」、「地域課題の解決」を図っている。しかし、平成24年度区政モニターアンケート結果によると、新宿区公式ホームページを見たことがある区民の割合は、全体が47.6%に対し、60代26.1%、70歳以上12.7%と、年代が上がるほど少なくなっている。区内高齢者にICTにアクセスできないことで生活に必要なサービスにアクセスできない、いわゆるデジタル・デバインドが発生していることが懸念される。</p> <p>高齢者がICTを使わない理由として、ICT自体に関心がない（42.5%）、価格が高い（49.3%）、使い方が難しくて使えない（57.3%）等が挙げられている。（出典）総務省「スマートフォン及びタブレットPCの利用に関する及び意向に関する調査研究」（平成24年）。</p> <p>「ICT自体に関心がない」ということは、逆説的に「メリットを知らない」高齢者が多いと考えられる。しかし移動や外出が困難な高齢者こそICTが必要であり、またその恩恵を最大限に享受すべき層でもある。居ながらにして情報を収集するだけでなく、発信することが出来るようになれば、新たな交流が可能になり生活の質の向上につながる。</p> <p>行政や企業からの情報がデジタル化する流れが加速する現在、必要性を認識したうえで講習に参加する積極的な受講生だけではなく、様々な理由でICTに触れてこなかった層に講習会を廉価で「出前」</p>	

	<p>する必要がある。</p> <p>●デジタル・デバイトの解消に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本格的なパソコン講習の必要性 <p>新宿区でもシニア活動館などの施設でパソコンを無料開放し、初心者向けの講座を実施するなどの対策を取っている。当団体も平成 21 年には新宿区の委託を受けて高田馬場シニア活動館で講習会を実施した。</p> <p>その際の反省として、高齢者が一人で自由にパソコンを操作できるようになるためには短期ではなく、きちんとしたカリキュラムのもとで継続的に段階を踏んだ講習が必要と感じた。終了時の受講生アンケートでも、ステップアップしたい、一人でパソコンに触るのにはまだ不安がある、との声が聞かれた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外出困難な高齢者向けの講習会の必要性 <p>当団体は平成 13 年の設立以来「シニアにやさしいパソコン教室」として活動を続けており、本格的な講習内容が評価されて 3 割以上が 3 年以上の継続受講生である。しかし、設立当初からの受講生の中に加齢や介護など様々な理由で外出が困難になった方が増えてきた。また、近隣の北新宿 1 丁目町会から当団体の教室まで来られない人のために地域センターで講習をして欲しいという要望があった。</p> <p>●ICT の必要性を理解していただく前段階の講習を行う</p> <p>何らかの理由でパソコンを遠ざけていた人に「脳トレ」として気軽に講習に参加していただくため、講習料金は低価格にする。出前講習の要請があった北新宿地区の地域センターで行う。</p> <p>高齢者にはスマホ、タブレット端末では画面が小さく、操作も大変な人が多いことと、ラベル、ハガキ作成を行うため、大きな画面で使えるパソコンを用意する。</p> <p>インターネットについて学ぶ前段階として、マウスやキーボードなどパソコンの基本操作に慣れていただく。</p> <p>●講習会を通じて得られる副次的な効果</p> <p>高齢者向けのパソコン講習には、①パソコンという新しい可能性に触れることで知的好奇心を満足させることができる、②同じ課題に取り組むことで仲間意識が生まれる、などの副次的な効果があり、当団体が「居場所」として評価していただける理由になっている。</p> <p>「パソコン出前講習会」は町内会など地域団体が住民向けに企画する催しの新しいメニューとなる可能性がある。</p>
<p>事業の対象者</p>	<p>新宿区内の高齢者、 これまでパソコンに触れていない方 移動や外出が困難な方</p>

<p style="text-align: center;">活動内容</p> <p>※必要に応じて、図表、地図、イラスト、写真等を添付し、又は印刷物等の資料を提出していただいても結構です。</p>	<p>「パソコンで脳トレ」出前講習会</p> <p>1回2時間 定員 20名(貸出パソコン10名、自機持ち込み10名)</p> <p>内容</p> <p>【第1回】 パソコンを始めよう パソコン初心者を対象に電源の入れ方、マウス操作、簡単なアプリケーションソフトの使い方を講習する。パソコンに対する抵抗感がなくなるように、楽しく手を動かしながらできるゲームや簡単な描画ソフトを使用してパソコン機器の操作や Windows のしくみになじんでいただく。</p> <p>【第2回】 ネームラベル作成 パソコン初心者(少し経験のある人)を対象に簡単なマウス操作とキーボード入力のできる小物作成を講習する。初心者や久しぶりにパソコンに触る人にもなじめるようにマウス操作やキーボード操作を練習してウォーミングアップ。 ハガキ作成ソフトを使って簡単なネームラベルの作成、携帯やメガネケースにも貼れる小さくて便利な名前シールを印刷。</p> <p>【第3回】 年賀状・クリスマスカードの作成 パソコン初心者(少し経験のある人)を対象に年賀状・カード作成を講習する。 初心者や久しぶりにパソコンに触る人向けのウォーミングアップ。年賀状、カードの作成は希望に応じて選択していただく。パソコンの習熟度やスキルに応じて入力量やイラストの選択・編集方法を調整、個別に対応を行い一人一人が満足できるものを仕上げ印刷。</p> <p>ゲームや役に立つ小物作成を通して楽しみながら基本的なパソコン操作や Windows のしくみになじめるように内容を工夫。 ゲームに夢中になるうちに細かいマウス操作に慣れ、ゲームのルールを考えることで脳に刺激を与え活性化させ、仲間と点数を競ったり、やり方などを教えたり聞いたりすることで会話やコミュニケーションを持つきっかけにもなる。 ハガキや小物作成では手に取れる作品を完成させることで作る楽しみや達成感を味わっていただくとともに、作品を作ることでパソコンを使う自信にもつなげていく。(具体的なスケジュールは別紙参照)</p> <p>特徴 テラ・ガーデン新宿ではこれまで13年間活動を続けているが、その場限りのお楽しみ講習ではなく、受講生が次のステップに進めるように継続的なカリキュラムと内容を実施している。手段だけではなく意味やしくみを学習するように基礎的なことを重視しながら、吟選した内容により楽しみながら繰り返し学習し、ステップアップできるように工夫している。 その結果、一通りの講習メニューを終了した後も、継続していろいろな作品作りに取り組む人や仲間を作って楽しく通い続ける人たちが多数いる。</p>
---	---

	<p>パソコン操作を楽しみながら親族や孫とメールのやり取りをしたり、町会や地域で広報や会計を引き受けたり、インターネットで必要な情報を入手したり役に立てている。(別紙写真資料参照)</p>
<p>地域の人たちの事業 へのかかわり方</p> <p>(ボランティアとして参加する等、どのように地域の人がこの事業に参画することができるかを記入してください。)</p>	<p>受講生として参加 パソコンの技能を習得することによって地域団体などに積極的に かかわることができるようになる スタッフとして運営に協力 近隣の町会を通じ、パソコンに関心がなかった人、外出が困難でパ ソコンが習えなかった人に参加を勧めるなど、周知・広報活動に協 力</p>
<p>実行体制</p> <p>(必要とされる人員と その確保のめど、必要な 設備等)</p>	<p>開講までのスケジュールと役割分担</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域ボランティアとテラ・ガーデンスタッフの打ち合わせ ・ 会場予約 ・ 受講生募集 (地域ボランティア・テラ・ガーデン新宿) チラシ作成・配布 広報掲載 ・ 受講生受付・管理 (地域ボランティア・テラ・ガーデン新宿) ・ 講習会準備 (テラ・ガーデン新宿) テキスト作成・印刷 2名 ・ パソコン梱包運搬作業 (テラ・ガーデン新宿) 2名 ・ 会場設営・パソコン設置 (地域ボランティア、テラ・ガーデン新宿) 5名 ・ 講習会 (テラ・ガーデン新宿講師、アシスタント) 講師1名、アシスタント1名、地域ボランティアスタッフ2名 <p>事務局 (テラ・ガーデン新宿)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全体のスケジュール管理 ・ 連絡 ・ 受講生管理 ・ 会計 ・ 報告書等書類作成

期待される成果	区民や地域にもたらす具体的効果	<p>パソコンの技能を習得するメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい趣味や生きがいを発見できる ・地域活動などに貢献する ・加齢による障害を補う（文字を書くことなど） ・脳に刺激を与え活性化することができる ・作品を完成させることでパソコンを使う自信をつける <p>共に学ぶことによって得られるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しいことに挑戦する意欲 ・ゲームや小物作りを通して仲間との会話やコミュニケーションの広がり <p>将来的な効果の展望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコン馴染むことでより広範な ICT を習得する道筋をつける ・パソコンやタブレット端末の操作に不可欠なマウス操作、キーボード操作に慣れる
	申請事業を実施することによる貴団体の活動への効果	<p>近隣地域自治会との関係をより深めることができる</p> <p>出張講習をきっかけとして、より本格的にパソコンを学びたい受講生を開拓する</p> <p>出張講習のノウハウを蓄積することで、既存の受講生が外出困難になった時などに対応できるようになる</p> <p>新宿区の媒体を使って広報ができる</p>
貴団体の経営基盤強化に向けた取り組みと今後の展望	<p>ICT の有用性を認識していただき、今後は町会主催の事業として内容を発展させて、継続的、定期的を開催したい</p> <p>区内の各地域団体と協働していきたい</p> <p>今回の講習では高齢者にはスマホ、タブレット端末では画面が小さく、操作も大変な人が多いことと、ラベル、ハガキ作成を行うため、大きな画面で使えるパソコンを用意する。</p> <p>タブレット端末については今後インターネット環境や機器が整えば、Web サイト検索、メール、写真の閲覧等の講習で活用していきたい。</p>	

2 助成対象事業費内訳（積算根拠）

※協働推進基金助成金は、助成申請額を入れて積算して下さい。

※入場料又は会費を徴収して行うイベント、公演等は、必ず単価を入れてください。

(G)

収入	経費	積算根拠（内訳）		金額
	団体負担金			237,920 円
	参加費・資料代等	@500 円×20 人×3 回		30,000 円
	その他の収入			0 円
	協働推進基金助成金	助成希望額		250,000 円
	計			517,920 円
支出（助成の対象になる事業費の内訳）	費目	予算額	内訳	
	会議費	9,200 円	会場費 柏木地域センター 午後 1、2（1,000 円×2）×3 回、会議会場費 400 円×3 回 会議資料コピー代 2,000 円	
	宣伝費	19,600 円	チラシ印刷 A4 モノクロ両面 10 円×600 枚×3 回分 用紙代 1,600 円	
	リース費	0 円		
	消耗品費	115,000 円	事務用品、ポスター、テキスト、資料用 32,000 円（インク代 10,000 円×2、用紙代、筆記用具、ホッチキス、クリアファイルなど）、 作業用 24,000 円（USB メモリ@4,000 円×4、SD カード@4,000 円×2） 講習用 59,000 円（USB メモリ@2,000 円×22、カードリーダー @5,000 円×3）	
	謝礼	63,000 円	ボランティア謝礼 準備@3,000 円×2 人×6 回、当日@3,000 円×2 人×3 回、@1,500 円×2 人×3 回	
	人件費	72,000 円	当日会場スタッフ@4,000 円×2 人×3 回 打合せ@4,000 円×2 人×6 回	
	材料費	38,000 円	教材用（インク代 10,000 円×3、特殊用紙 8,000 円）	
	交通費	15,120 円	バス代 840 円×3 人×6 回	
	その他諸経費	48,000 円	パソコン・プリンタ等運搬費 8,000 円×2×3 回 8,000 円=（1 梱包 1,200 円+宅急便運賃）×4 ヤマト運輸パソコン宅急便	

助成対象事業費（小計）	379,920 円	
助成対象外事業費	138,000 円	内部講師@2,000×2hrs×3回、アシスタント@1,000×2hrs×3回 教材準備テキスト作成 12,000 円×3回 ポスター・チラシデザイン作成 12,000 円×3回 事務局@4,000 円×2人×6回
事業総額		517,920 円

3 その他

助成金申請額を減額して助成金の交付決定をした場合、助成対象事業の遂行は可能ですか。

(はい ・ いいえ)

助成対象経費

下記項目以外の経費（飲食費等）は、対象といたしません。

項目	経費の種類
①会議費	打合せ、会議資料コピー代、会場使用料等
②宣伝費	チラシ、ポスター等作成費
③リース費	事業に直接必要な機器の賃借料
④消耗品費	事務用品の購入費
⑤謝礼	講師、協力団体等への謝礼（1時間当たり1万円を限度とし、1日当たり3万円を限度とする。）
⑥人件費	事業実施に直接関る事業主体の人件費として時間単価1,000円、1日あたり1人4,000円を上限として、かつ助成対象事業費の20%以内
⑦材料費	事業に直接必要な材料の購入費
⑧交通費	公共交通機関の交通費、講師との事前打合せのための交通費等（タクシー代は除く。）
⑨その他諸経費	損害保険料、郵送料等（チャリティ募金、寄附金等は除く。）